



ソフトウェアバージョン:	2.0.5.89
サポートライセンス:	DV-800S (D-View 8 スタンダード)
	DV-800E (D-View 8 エンタープライズ)
発行日:	2024/10/7

本リリースノートには、D-Link ネットワーク管理ソフトウェアの更新に関する重要な情報が含まれています。お使いのネットワーク管理ソフトウェアに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しくリリースされたソフトウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でソフトウェアのアップグレードを行ってください。

ネットワーク管理ソフトウェアに関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次：

変更履歴：	2
システム要件：	2
アップグレード手順：	3
D-View 8 サーバのアップグレード手順	3
D-View 8 リモートプロンプのアップグレード手順	5
追加機能：	6
修正した問題点：	6
既知の問題：	6

変更履歴 :

ソフトウェアバージョン	リリース日付	サポートライセンス
ランタイム: v2.0.5.89	2024/10/7	DV-800S (D-View 8 スタンダード) DV-800E (D-View 8 エンタープライズ)

システム要件 :

D-View 8 v2.0.5.89 のシステム要件は以下の通りです。

	D-View 8 サーバ	D-View 8 リモートプローブ
CPU	Quad Core3.5GHz 以上	Dual Core3.0GHz 以上
メモリ	16GB 以上	4GB 以上
空き容量	200GB 以上	200GB 以上
OS	<ul style="list-style-type: none"> Windows10 Professional Edition 以上 (64bit) Windows11 Professional Edition 以上 (64bit) Windows Server 2016 Standard Edition 以上 (64bit) Windows Server 2019 Standard Edition 以上 (64bit) Windows Server 2022 Standard Edition (64bit) 	<ul style="list-style-type: none"> Windows10 Professional Edition 以上 (64bit) Windows11 Professional Edition 以上 (64bit) Windows Server 2016 Standard Edition 以上 (64bit) Windows Server 2019 Standard Edition 以上 (64bit) Windows Server 2022 Standard Edition (64bit)
データベース	MongoDB 4.0 以上*	—

*既存の MongoDB を利用、もしくは D-View 8 サーバのインストール時に新規で MongoDB をインストール

	クライアント
CPU	Dual Core3.0GHz 以上
メモリ	4GB 以上
空き容量	100GB 以上
OS	<ul style="list-style-type: none"> Chrome Firefox Safari Edge

アップグレード手順：

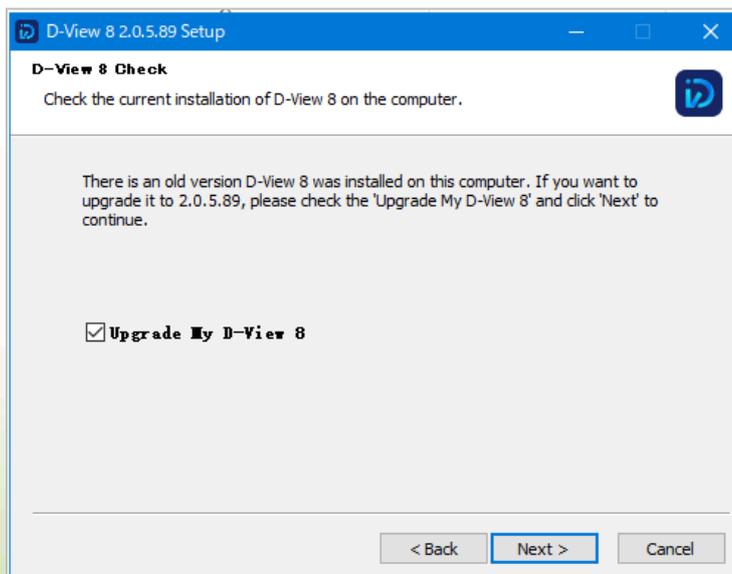
※D-View 8 の新規インストール手順については、ユーザマニュアルを参照してください。

D-View 8 サーバのアップグレード手順

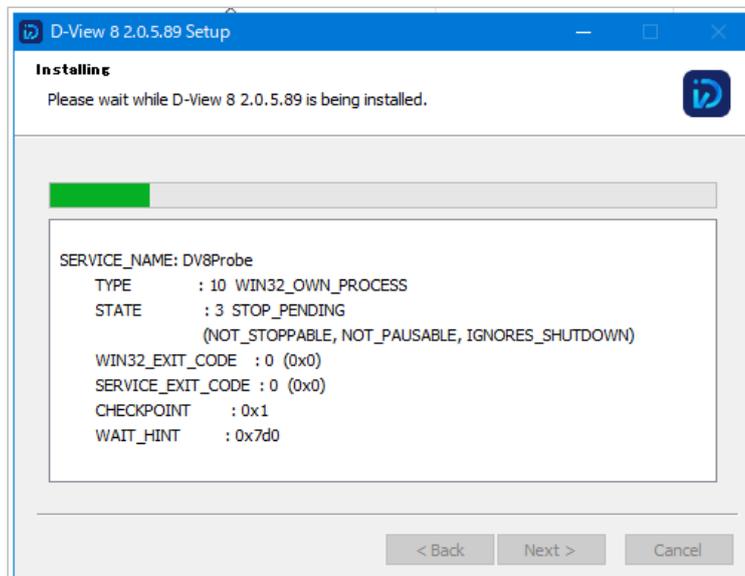
1. D-View_8_2.0.5.89_Installation.exe をダブルクリックして、セットアップウィザードを開始します。
2. 「Next」 ボタンをクリックし、セットアップウィザードを開始します。



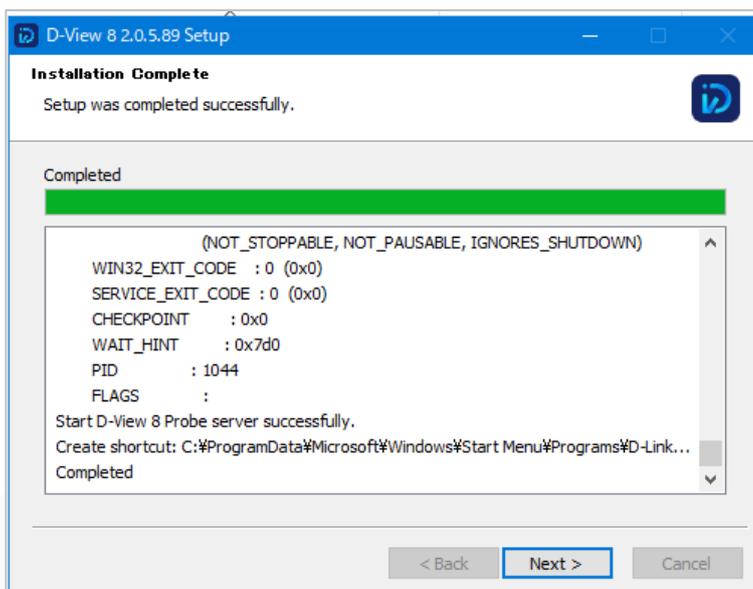
3. 「Upgrade My D-View 8」 のチェックボックスにチェックを入れた状態で、「Next」 ボタンをクリックします。



4. インストールが開始され、進捗のステータスが表示されます。



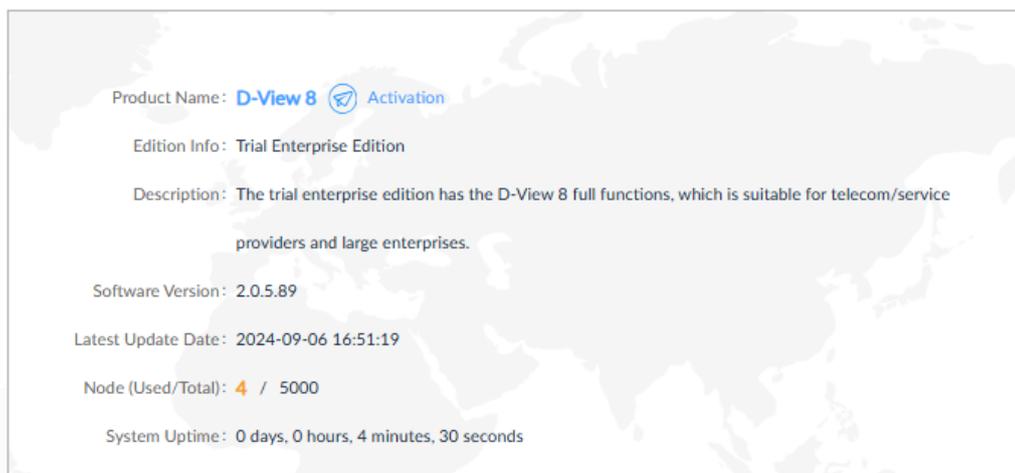
5. インストール完了後、「Next」ボタンをクリックします。



6. インストールが終了すると、下記画面が表示されるので「Finish」ボタンをクリックして終了してください。



7. D-View 8 ダッシュボードにログインし、**System > About** メニューから最新バージョンにアップグレードされていることを確認します。



D-View 8 リモートプローブのアップグレード手順

<v1.0.x.x のリモート Probe がインストールされている場合>

Probe インストーラをダウンロードし、手動でアップグレードを実行する必要があります。

※通常、この手順は D-View 7 からの移行時に D-View 8 v1.0.x.x をインストールした場合に実施します。

<v2.0.x.x のリモート Probe がインストールされている場合>

D-View 8 サーバのアップグレードを行うと、リモートプローブも自動的にアップグレードされます。

※リモートプローブとコアサーバ間で正常に通信が行われていることが前提です。

追加機能：

ソフトウェアバージョン	追加機能
V2.0.5.89	<ol style="list-style-type: none"> 1. パネルテンプレート/監視テンプレート/設定テンプレートについて、テンプレートのコピー機能を追加致しました。 2. 管理デバイスのファームウェアアップグレードにおいて、実行中のステータスを細分化致しました。 3. D-View 8 管理画面の対応言語を追加致しました。(日本語、韓国語) 4. Monitoring > Device View > Managed 画面に以下の表示項目を追加致しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ SNMP Privilege ・ FDB MAC (本項目では、スイッチが学習した MAC アドレスを確認できます。) 5. 「Historical Task」画面のタスク結果とタスク履歴の機能を改善致しました。 6. ライセンスアクティベーションのメカニズムを改善致しました。MAC アドレスではなくマシン ID を使用してライセンスとの紐づけを行います。 7. サポート対象製品に以下のモデルを追加致しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ DMS-1250-10S/A1 ・ DMS-1250-10SP/A1 ・ DMS-1250-12TP/ A1 ・ DXS-3410-32XY/A1 ・ DXS-3410-32SY/A1 8. D-View 8 サーバ/Probe のシステム要件として、以下の OS をサポート致しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Windows11 Professional Edition 以上 (64bit) ・ Windows Server 2022 Standard Edition (64bit) 9. D-View 8 のユーザ認証から RADIUS 認証の機能を削除致しました。

修正した問題点：

ソフトウェアバージョン	修正した問題点
V2.0.5.89	<ol style="list-style-type: none"> 1. 設定カテゴリの「Add Category」ボタンが無効化されている問題を修正致しました。 2. ファームウェア管理画面のデバイスグループ一覧でデバイスを選択できない問題を修正致しました。 3. 「Role Privileges」画面のアクセス権限一覧から不要な機能名を削除致しました。 4. スクリプト実行を含む通知ルールについて、「alarm handling」オプションをチェックして保存するとエラーメッセージが表示される問題を修正致しました。 5. D-View 8 管理画面への初回ログイン時、パスワード設定画面が表示されない場合がある問題を修正致しました。 6. DAP-X2850 について、デバイス情報画面の SSID 情報において認証モードが正しく表示されない問題を修正致しました。

既知の問題：

ソフトウェアバージョン	既知の問題
V2.0.5.89	特になし